

平成30年度 当初予算要求事業内容説明書

2款 1項 12目

第2章 快適で、安全・安心なまちづくり

基本施策3 消防・防災の充実

【会計】一般会計

施策3 防災に関する知識・意識の普及を図ります

2款:総務費 1項:総務管理費 12目:防災対策費

事業	39	防災啓発施設整備事業
担当所属	危機管理室	

【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
4,156千円	4,156千円				

【事業の概要】

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">防災啓発センターの来場者への案内並びに安全確保を行います。市民防災啓発センターの管理、運営を行います。防災啓発センターは、設備の老朽化が著しいことから、今後の利活用方法につきまして、検討してまいります。
事業の目的	市民の防災意識の啓発や発災時における避難・救助・初期消火などの確な行動力の向上を目的とした防災啓発センターの管理運営を行います。
事業の効果	災害に備えている市民の割合が増えることにより、災害による被害の軽減が図ることができます。

【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
11 需用費		
消耗品費	18千円	
修繕料	50千円	地震体験車等の修繕のための経費
13 委託料		
施設維持管理委託料	3,638千円	来館者への誘導、安全対策、機器操作等の委託料
地震体験車保守点検委託料	450千円	地震体験車起震装置部分の保守点検
計	4,156千円	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成30年度計画値
防災啓発センター管理箇所数	1箇所
利用者の安全確保	安全確保を図ります
市民防災啓発センター来館者数	2,400人
地震体験車利用人数(館内外)	3,600人